

## 船舶事故調査報告書

平成29年4月20日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成28年8月30日 17時13分ごろ
発生場所	長崎県対馬市鹿ヶ埼付近 黒ミ埼灯台から真方位270° 1,120m付近 (概位 北緯34° 18.0′ 東経129° 18.6′)
事故の概要	プレジャーヨットStar & Mountainは、入航中、浅瀬に乗り揚げた。
事故調査の経過	平成28年9月1日、主管調査官（門司事務所）を指名原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーヨット Star&Mountain、11トン
船舶番号、船舶所有者等	235-48416長崎、大成不動産システム株式会社
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	センターボード下部に擦過傷
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 7、視界 良好 海象：波高 約0.3～0.4m、潮汐 上げ潮の中央期、潮高 約143cm 長崎県上対馬及び下対馬には、8月28日16時27分に強風注意報が、26日10時16分に波浪注意報が、29日16時43分に高潮注意報がそれぞれ発表され、本事故時も継続中であった。
事故の経過	本船は、船長ほかクルー3人が乗り組み、大韓民国釜山港に向けて長崎県長崎市のマリーナを出航した。 本船の喫水は、船首尾共に約0.6～0.7m、船底からセンターボードの下端まで約1.3～1.4mであった。 本船は、海が荒れてきたので、船長が何度か行った経験がある対馬市竹敷港樽ヶ浜に避泊する目的で、約6ノットの対地速力で機走して三浦湾に入り、鹿ヶ埼沖で左転していたところ、乗り揚げた。 船長は、鹿ヶ埼の北西方沖に浅瀬があったことを思い出し、そこに本船が乗り揚げたことを認め、海上保安庁に本事故の発生を通報し、クルーの1人が潜って調べたところ、センターボードの下端が砂利に埋まっていた。 本船は、波により上下に動いていたので、その動きに合わせて船長が後進させたところ、浅瀬から脱出できたので、自力で竹敷港樽ヶ浜に入港した。
分析	本船は、鹿ヶ埼沖を左転して竹敷港樽ヶ浜に入航中、船長が鹿ヶ埼の北西方沖に浅瀬があることを失念して航行したことから、浅瀬に乗

	り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、鹿ヶ埼沖を左転して竹敷港樽ヶ浜に入航中、船長が鹿ヶ埼の北西方沖に浅瀬があることを失念して航行したため、浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。